



2020年7月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 高 山 泰 仁  
(コード番号：6548 東証マザーズ)  
問い合わせ先 執 行 役 員 岩 田 静 絵  
コーポレート本部長  
TEL. 03-5956-3044

(訂正) 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)  
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2019年8月13日に開示いたしました「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年7月31日)付「不正行為による過年度決算訂正および2020年3月期通期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月13日  
東

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所  
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL)03(5956)3044  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (— )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,944	42.8	81	—	80	—	47	—
2019年3月期第1四半期	5,563	27.0	△90	—	△95	—	△81	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 46百万円 ( —%) 2019年3月期第1四半期 △78百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.07	9.76
2019年3月期第1四半期	△17.50	—

(注) 2019年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,378	1,420	19.1
2019年3月期	6,856	1,373	19.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,412百万円 2019年3月期 1,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.7	351	5.4	342	7.6	216	13.7	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,693,400株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期1Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期1Q	4,689,288株	2019年3月期1Q	4,670,511株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが見られるものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から6月における日本人出国者数が前年同期比11.1%増の462万人\*と、活発な海外旅行需要が続いていることに加えてゴールデンウィーク大型連休が後押しとなり、好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比3.6%増の857万人\*と、伸び率の鈍化は見られるものの増加傾向を維持しております。

このような情勢のもと、当社グループでは、引続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、好調な個人旅行需要の取込みに努めました。アジアを中心とした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、大型連休を見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引続き営業体制の強化に取り組み、企業の業務渡航やMICE案件の受注が好調に推移いたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン販売商品の販路拡大のため、スカイスキナーとの接続を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,944,406千円（前年同期比42.8%増）、営業利益は81,001千円（前年同期の営業損失は90,075千円）、経常利益は80,947千円（前年同期の経常損失は95,995千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,240千円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は81,712千円）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2019年7月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,514,251千円と、前連結会計年度末比507,656千円増加しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比294,143千円、旅行前払金が前連結会計年度末比484,637千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比202,768千円減少したことによるものです。

## (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は864,699千円と、前連結会計年度末比14,916千円増加しました。これは主に、無形固定資産が前連結会計年度末比41,267千円増加した一方で、繰延税金資産が前連結会計年度末比22,551千円減少したことによるものです。

## (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,888,953千円と、前連結会計年度末比476,073千円増加しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比712,284千円増加した一方で、買掛金が前連結会計年度末比165,978千円減少したことによるものです。

## (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は69,439千円と、前連結会計年度末比375千円減少しました。これは主に、固定負債(その他)が前連結会計年度末比425千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,420,558千円と、前連結会計年度末比46,874千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比47,240千円、非支配株主持分が前連結会計年度末比1,832千円増加した一方で、為替換算調整勘定が前連結会計年度末比2,044千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,983,299
受取手形及び売掛金	831,856	629,087
割賦売掛金	82,031	70,687
旅行前払金	1,225,114	1,709,751
その他	179,604	122,376
貸倒引当金	△1,166	△950
流動資産合計	<u>6,006,595</u>	<u>6,514,251</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	88,586
車両運搬具(純額)	7,553	6,931
リース資産(純額)	5,041	3,129
その他(純額)	7,651	9,044
有形固定資産合計	111,278	107,692
無形固定資産	243,441	284,709
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,039	34,488
差入保証金	192,990	192,536
その他	245,034	245,273
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	<u>495,064</u>	<u>472,298</u>
固定資産合計	<u>849,783</u>	<u>864,699</u>
資産合計	<u>6,856,379</u>	<u>7,378,951</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	774,055	608,076
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	3,445
未払法人税等	106,758	2,351
旅行前受金	4,142,170	4,854,455
賞与引当金	122,273	65,616
その他	255,606	355,007
流動負債合計	5,412,880	5,888,953
固定負債		
資産除去債務	32,352	32,402
その他	37,462	37,037
固定負債合計	69,815	69,439
負債合計	5,482,695	5,958,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	427,212
資本剰余金	336,942	337,212
利益剰余金	586,087	633,328
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,349,888	1,397,669
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△521
為替換算調整勘定	17,299	15,255
その他の包括利益累計額合計	17,472	14,733
非支配株主持分	6,323	8,155
純資産合計	1,373,684	1,420,558
負債純資産合計	6,856,379	7,378,951

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,563,974	7,944,406
売上原価	4,830,825	6,822,711
売上総利益	733,148	1,121,695
販売費及び一般管理費	823,224	1,040,693
営業利益又は営業損失(△)	△90,075	81,001
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	—	0
為替差益	—	2,153
その他	125	223
営業外収益合計	138	2,384
営業外費用		
支払利息	916	34
為替差損	2,531	—
支払保証料	1,359	761
支払手数料	1,126	1,454
その他	124	188
営業外費用合計	6,058	2,438
経常利益又は経常損失(△)	△95,995	80,947
特別損失		
不正関連損失	1,931	—
特別損失合計	1,931	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,927	80,947
法人税、住民税及び事業税	536	9,065
法人税等調整額	△16,751	22,852
法人税等合計	△16,214	31,918
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,712	49,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,788
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,712	47,240

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△81,712</u>	<u>49,029</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	817	△693
為替換算調整勘定	2,716	△2,001
その他の包括利益合計	<u>3,533</u>	<u>△2,695</u>
四半期包括利益	<u>△78,178</u>	<u>46,334</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△78,178</u>	<u>44,502</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月13日  
東

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所  
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL)03(5956)3044  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (— )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,977	43.3	108	—	108	—	71	—
2019年3月期第1四半期	5,567	27.1	△94	—	△96	—	△68	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 70百万円 ( —%) 2019年3月期第1四半期 △64百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.18	14.72
2019年3月期第1四半期	△14.67	—

(注) 2019年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,453	1,478	19.7
2019年3月期	6,903	1,407	20.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,470百万円 2019年3月期 1,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.5	351	8.6	342	2.7	216	6.1	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,693,400株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期1Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期1Q	4,689,288株	2019年3月期1Q	4,670,511株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが見られるものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から6月における日本人出国者数が前年同期比11.1%増の462万人\*と、活発な海外旅行需要が続いていることに加えてゴールデンウィーク大型連休が後押しとなり、好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比3.6%増の857万人\*と、伸び率の鈍化は見られるものの増加傾向を維持しております。

このような情勢のもと、当社グループでは、引続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、好調な個人旅行需要の取込みに努めました。アジアを中心とした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、大型連休を見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引続き営業体制の強化に取り組み、企業の業務渡航やMICE案件の受注が好調に推移いたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン販売商品の販路拡大のため、スカイスキナーとの接続を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,977,927千円（前年同期比43.3%増）、営業利益は108,561千円（前年同期の営業損失は94,985千円）、経常利益は108,000千円（前年同期の経常損失は96,664千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71,201千円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は68,511千円）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2019年7月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,588,143千円と、前連結会計年度末比534,853千円増加しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比294,143千円、旅行前払金が前連結会計年度末比484,637千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比171,879千円減少したことによるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は865,280千円と、前連結会計年度末比14,916千円増加しました。これは主に、無形固定資産が前連結会計年度末比41,267千円増加した一方で、繰延税金資産が前連結会計年度末比22,551千円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,905,765千円と、前連結会計年度末比479,309千円増加しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比712,713千円増加した一方で、買掛金が前連結会計年度末比167,155千円減少したことによるものです。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は69,439千円と、前連結会計年度末比375千円減少しました。これは主に、固定負債(その他)が前連結会計年度末比425千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,478,219千円と、前連結会計年度末比70,834千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比71,201千円、非支配株主持分が前連結会計年度末比1,832千円増加した一方で、為替換算調整勘定が前連結会計年度末比2,044千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,983,299
受取手形及び売掛金	879,000	707,121
割賦売掛金	82,031	70,687
旅行前払金	1,225,114	1,709,751
その他	179,155	118,234
貸倒引当金	△1,166	△950
流動資産合計	<u>6,053,290</u>	<u>6,588,143</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	88,586
車両運搬具(純額)	7,553	6,931
リース資産(純額)	5,041	3,129
その他(純額)	7,651	9,044
有形固定資産合計	111,278	107,692
無形固定資産	243,441	284,709
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,620	35,069
差入保証金	192,990	192,536
その他	245,034	245,273
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	<u>495,645</u>	<u>472,879</u>
固定資産合計	<u>850,364</u>	<u>865,280</u>
資産合計	<u>6,903,655</u>	<u>7,453,424</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	775,179	608,024
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	3,445
未払法人税等	120,215	18,901
旅行前受金	4,141,466	4,854,180
賞与引当金	122,273	65,616
その他	255,304	355,598
流動負債合計	5,426,455	5,905,765
固定負債		
資産除去債務	32,352	32,402
その他	37,462	37,037
固定負債合計	69,815	69,439
負債合計	5,496,271	5,975,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	427,212
資本剰余金	336,942	337,212
利益剰余金	619,787	690,989
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,383,589	1,455,330
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△521
為替換算調整勘定	17,299	15,255
その他の包括利益累計額合計	17,472	14,733
非支配株主持分	6,323	8,155
純資産合計	1,407,384	1,478,219
負債純資産合計	6,903,655	7,453,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,567,793	7,977,927
売上原価	4,839,555	6,829,224
売上総利益	728,238	1,148,703
販売費及び一般管理費	823,224	1,040,141
営業利益又は営業損失(△)	△94,985	108,561
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	—	0
為替差益	1,708	1,645
その他	125	223
営業外収益合計	1,847	1,877
営業外費用		
支払利息	916	34
支払保証料	1,359	761
支払手数料	1,126	1,454
その他	124	188
営業外費用合計	3,526	2,438
経常利益又は経常損失(△)	△96,664	108,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△96,664	108,000
法人税、住民税及び事業税	536	12,157
法人税等調整額	△28,689	22,852
法人税等合計	△28,153	35,010
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,511	72,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,788
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,511	71,201

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△68,511</u>	<u>72,990</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	817	△693
為替換算調整勘定	2,716	△2,001
その他の包括利益合計	<u>3,533</u>	<u>△2,695</u>
四半期包括利益	<u>△64,977</u>	<u>70,294</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△64,977</u>	<u>68,462</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。